

会議議事録

会議名「令和５年度 小矢部市ケーブルテレビ放送番組審議会（第１回）」

- 1 日 時 令和６年２月26日（月）10時から11時40分まで
- 2 場 所 小矢部市役所特別会議室
- 3 出席者 （小矢部市ケーブルテレビ放送番組審議会委員 ８人）
山 室 秀 隆（小矢部市議会）
谷 崎 正 則（小矢部市自治会連合会）
宮 崎 三保子（小矢部市連合婦人会）
林 登（一般社団法人 小矢部青年会議所）
山 本 裕 二（公益財団法人 小矢部市体育協会）
鷺 明 美（小矢部市商工会）
田 中 みさと（公募）
坂 田 由起子（公募）
（欠席）中 川 邦 章（小矢部市小中学校長会）
（欠席）島 谷 和 宏（小矢部市芸術文化連盟）

桜井市長

（となみ衛星通信テレビ株式会社（TST））
加賀谷常務取締役経営管理部長、大村取締役制作部長、森井制作課長、
岩見経営管理課長、林課長代理
事務局（小矢部市）
吉田企画政策部長、吉田デジタル推進課長、早助課長補佐、畑主任

- 4 諮問事項（市長より）
「おやベココミュニティチャンネルの今後について」
（1）番組編成の在り方について
（2）新たな編成での放送時期について
- 5 報告事項
（1）小矢部市ケーブルテレビの放送番組の編成について（畑主任から説明）
（2）おやベココミュニティチャンネルの放送状況について（林課長代理）
（3）アンケート調査の結果について（畑主任から説明）
- 6 審議事項
おやベココミュニティチャンネルの今後について（早助課長補佐から説明）

7 議事等について

会長の選任 会長 山室委員、副会長 谷崎委員

8 議事録

1 開 会	
2 挨拶	市長挨拶
3 委員の委嘱	委員委嘱
4 委員の紹介	委員・事務局員紹介
5 会長の選任	会長 山室秀隆委員 副会長 谷崎正則委員 に選任 山室会長挨拶
6 諮問事項	桜井市長から諮問書提出 【市長退席】
7 報告事項	「小矢部市ケーブルテレビの放送番組の編成について」事務局から説明 「おやベココミュニティチャンネルの放送状況について」となみ衛星通信テレビから説明 「アンケート調査の結果について」事務局から説明 【3点の報告事項について質疑等】 (山本委員) 昨年スポ少のPRについて、小矢部以外の砺波とか南砺のスポ少の放送は小矢部でも流れているのに、砺波とか南砺とかの放送には小矢部のスポ少が出てないんじゃないかという話があった。 スポ少は別に小矢部だけでなく、砺波からも南砺から来ていただいて結構なので、そういうPRを入れてもらうことができないかという質問があった。小矢部で流れているものを、砺波とか南砺とかで流すことはできないのか。 (TST 大村部長) 流せるか流せないかで申しますと、流せないことはないんですが、今はチャンネルが別ということで分かれて別の番組として、それぞれ砺波・南砺は砺波地区の、小矢部 TVCROSS では小矢部のスポ少ということで、番組が分かれていますから別々に流れていますが、全く不可能ということではなく、小矢部市との協議の上決めていけるかと思います。 (事務局 吉田課長) 今ほどの意見についてはTSTさんの方から申された通り、今番組が別というところでございますので、事務局としてもこれ以上のことはちょっと現段階では申し上げられないということであります。 (山本委員) 砺波とか南砺とかで、小矢部のスポ少も流れている、そういう番組があるって

ことですか。

(TST 大村部長)

それは流れていません。

(山本委員)

見たって言う人がいるので、それは、共通の番組で流れていたということでしょうか。

(TST 大村部長)

共通の番組でも流していないので何かの間違いではないかと。

(山本委員)

わかりました。

(事務局 早助課長補佐)

逆はあるんですか。砺波・南砺のスポ少の情報を小矢部で見ることができるということは。

(TST 大村部長)

共通枠は共通枠だけです。

(事務局 早助課長補佐)

ではないということですね。

(林委員)

アンケートの結果報告があったんですが、今後どういうふうにして番組作りの参考に反映していくのか、逆に聞いておきたいのは前回2年前にアンケートを取った後は、このアンケート結果を基にどのような取り組みをされたのか、何か変えたこと・変わったことがあったのでしょうか。その辺はどのようなケースか教えてください。

(事務局 早助課長補佐)

アンケートにつきましては実際の参考にはさせていただいていますが、この番組にこういうふうに、どういうふうに変えましたとか、こう変わりましたっていう、具体的な例っていうのは今のところはないですね。

ご意見としては参考にさせていただいて、当審議会の方でこういったご意見もございましたということで、報告はさせていただいている、そこまでに今とどまっている状況です。

(林委員)

そしたら2ページには加入の仕方がわからないって、5人、5.5%の人がいらっしゃって、例えばアンケート答えた方が5.5%で、それ以外の方も含めて、小矢部市民対象だと市民の内の5.5%は、加入してないお宅の5.5%ぐらいは、加入の仕方がそもそもわからないから選択肢どうのじゃないよって話なんだろうと思うので、そういうところを改善して、今回ならばそういったところに対して、何か周知を改めてするだとか、取り組みができることもあるんだろうと思うんですが。そういったことが前回でも多分あって、何かしら違うところもあったのかなあと思うと、せっかくアンケート取られているのであればそれに対してしっかりアクションしていかなければ、アンケートに意味がないと思うので参考にされていたというが、ただそれアンケートとして見てますっていうだけの話であって、アンケートをとった結果、対応までしっかりしなければいけないと思うので、そこまた取り組みをお願いしたいと思います。

(事務局 吉田課長)

今ほど林委員おっしゃる通り、取っただけで終わってでは何の意味もないので、今回加入していない世帯も含めてのアンケートということであり、加入の仕方がわからないというご意見の方もありますので、周知等については改めて、TSTと協議して、わかりやすい周知の方に努めて参りたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

(谷崎委員)

アンケート結果を見ていて、見たい番組がないというのが圧倒的に多いですけども、これを改善するためには、どういうふうにしたら見てもらえるようになるのか。例えば、番組の放送の仕方とか、時間帯とかそれをもうちょっと何かやれるのか、変わるのかどうなのか。ゴールデン時間帯というのもありますけど、そこに全部番組を集中させるというののもなかなか難しいものですけど、やっぱりせっかく情報発信をしているので、できれば市民の皆さんにできるだけ、特に大事な情報を、見てもらえるような時間帯に放送をするという方法で番組構成を進めていただきたいというのと、見たい番組がないというのを何か改善できる方法はないかというのを、これから何か考えてもらえるのか、あるいは何か考えておられるのかお伺いしたいんですけど、

あとそれともう1つはデジタル放送が分からないというのが、それは多分市の方だと思いますが、それをどういう風にして分かりやすく、市民の皆さんにアピールしていくのか、この2点をお伺いしたいと思います。

(事務局 早助課長補佐)

資料1の別紙1の方、もう一度ご覧いただきたいのですが、番組の基本編成ということで、時間体別の放送番組について記載しております。

先ほどアンケートの方にありました、よく見られている、16時から22時ぐらい、この間には、こちらの方に記載ありますように、新・おやべランドとか、地区特派員だよりといった、アンケートの方でもよく、見られている番組というものを、この時間体の方に放送するようにして、たくさん見ていただける時間帯に、人気の番組を放送するような努力の方はしているところです。

あわせて、希望されるような番組等については、今後どのような放送が可能かというところについては、TSTの方ともまた協議しながら、新しい番組づくりっていうところも視野に入れながら検討していきたいなというふうには思っています。

データ放送については見にくいとか、分かりにくいというご意見もございますので、どういうふうにどういった場合に、こういったデータ放送を活用いただいたらいいのかとか、そういったところも含めて、市のホームページやTSTのホームページ等で、周知また図っていききたいなと思っています。

(谷崎委員)

逆に言ったらわかりやすく説明するとか、例えば、今の若い人には分かっても、年齢制限があるようなアピールの仕方では、例えば年代が50・60代ぐらいまで

は分かるけど、それ以上の人にとっては何に書いてあるのか、何を言わんとしているのか分からないような、例えば説明の仕方についてもデジタル関係特有の言葉を使うのではなくて、年配の人でも分かりやすいような説明の仕方も考えたらいいんじゃないかなとは思うんですけども。

（事務局 吉田課長）

今ほど課長補佐から申し上げた通り、しっかりと周知の方法については検討して参りたいというふうに思っております。

今回このアンケート結果、これほど注視されてないのかというふうに我々もちょっとびっくりしている部分ありますので、谷崎委員の意見も参考にさせていただきながら、わかりやすく周知のほうを図って参りたいというふうに考えております。

（坂田委員）

今年1月1日に災害が発生したんですけれど、ケーブルテレビを見て、今現在どこの部分が被害にあったとか、デジタル放送（データ放送？）で確認することがあるんですけれど、もう少し何か詳しい、こういう風になっているとかそういう情報を入れていただければいいなど。

あと若者に対する何かそういう番組はどういう風なものを考えておられますか。

（事務局 吉田課長）

まず今回の災害、1月1日能登半島地震ありましたがけれども、この災害の際に、電波というか電気の方は、小矢部市は比較的、影響が少なかったということで、テレビを見る環境にはあったところであります。それで、落ち着いた後に、TSTの方とも話しをしております、せっかくそのデータ放送という部分があるのに使いきれてなかったなというところは、共通の認識として持っているところであります。

今回は地震でしたけれども、大雨等もございますので、そういう災害の際について、今後データ放送をどう活用していくか、というところについては、今現在TSTの方と協議の方も進めておりますので、次回以降については何らか違うような形で、しっかりと情報提供できるのではないかとというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。ご意見ありがとうございます。

（TST 林課長代理）

若者に見てもらふ番組っていうのは実はいろいろ試行錯誤して考えていますがなかなか若者というのは、もうテレビを見ない時代になってきているというのが実態です。

先ほどご説明させていただいたんですが、高校生を取り上げる番組ですとか、県内の部活をしている子供たちとか、色々子供に見てもらふための番組作りにも努力していますが、放送しているものを同時に、同時間に見るというよりは今の若者はもうネット環境で後から、例えば夜であるとか、自分の空いた時間に見る

というような環境ができているのかなという風に思っています。私どものサービスとして「ロコテレ」というサービスがありまして、そういったものを使いながら、少しでも若者を獲得できるよう努力しているつもりです。またご意見があれば教えてください。

(田中委員)

今若者の話しが出たんですが、私自身もまだ小さい子供がいるんですが、今からだと入学式等が放送されると思うんですが、ちょっと季節から外れた感じで放送されるので、季節に合ったような時期で放送されるのは難しいですか。

(事務局 畑主任)

番組の兼ね合いとかもあってどうしてもちょっと後に遅れてしまうっていうのはあるんですけども、入学式とかそういったものは、特別枠としてできるだけ季節から外れないように意識して流していきたいと思っております。

地区特派員レポートについては、地区特派員さんから提出されるタイミングとか、出された（他の番組の）放送もあるので、2カ月とか遅れてしまうことがあるんですけど、できるだけ大きく外れないようにはしていきたいと考えております。

(鷲委員)

今回のアンケート結果を拝見させていただいているんですけども、前回もっと広い範囲でアンケート実施したらいいんじゃないかという意見に基づいて反映された内容だと思うので、今回の結果については、本当によくできたアンケート結果だと思います。こうした意見というのはアンケートをすることによって吸い上げられる内容が多いと思いますので、次回もこれを基に検討していけるような審議会にしていければいいと思います。

これからケーブルテレビの方でも色々な変革があると思うんですけども、その中で今までの結果では、加入の仕方がわからないっていうのは全くなかった内容だと思うので、広く市民の方の意見を聞くことが大事なかと改めて思いました。

(事務局 早助課長補佐)

今回のアンケートにつきましては先ほどの説明のときにも少し申しましたが、市民満足度調査に合わせて、実は初めてその加入をしてない人も対象に、アンケートをとらせていただいたところです。

これまでは加入している人だけにとっていたところで、今回初めて加入してない方に対して、何で加入してないんですかとか、というような意見をいただけたところなので、こういった意見については、加入者の増とか、新しい番組作りにしっかり反映していきたいなというふうに思っております。より良い番組作りのために使用していきたいなと思っております。

(宮崎委員)

	ケーブルテレビにはケーブルテレビの良さがあると思います。昨今テレビ離れの人も多い中でケーブルテレビのある意味というのをもう一度問うてみたいなと思います。やはり地域密着という、そういうニュースを得るという点ではいいなと思っています。 でも、加入の仕方が分からないというのはちょっと問題でしたが、それで改めていろんな情報得る手段を考えると、最近また災害で言えば、LINEで入ってくる、それから市からのメールで入ってくる、県警の防犯メールが入ってくるというようないろんな手段で、何年か前と比べると非常に情報が色んな手段で入ってくるようになりました。そういった意味ではリアルタイムで入ってくる手段はもっと他にもあるかなとは思いますが、ケーブルテレビで私が重宝しているのは火事が起きたっていつきのテロップとか、ああいったようなものは地域密着で非常にいいと思います。 全てをケーブルテレビに求めるというのは大変かなと思いますが、「あの家のおじちゃん出とったわ」とかそういうところとかいい点もたくさんありますので、そういう点も大事にしていけたらいいと思っています。取り留めないこと言いましたけど、ケーブルテレビのよさを是非活かしてこれからもまた頑張っていると思います。 (山室会長) 全員の方から本当に意見をたくさんいただきまして、今後の番組編成の方に役立つのではないかなというふうに思っております。 それではないようですから、報告事項についてはこれで終了とさせていただきます。 【となみ衛星通信テレビ退席】
8 審議事項	事務局にて諮問書の諮問事項と諮問理由を読み上げ 「おやベココミュニティチャンネルの今後について」を、事務局から説明 【審議事項について質疑等】 (谷崎委員) 番組編成するための、番組料としての対価をTSTから小矢部市に対して、当然砺波から（南砺も）も貰うことになると思うがその流れはどうなっているのか。 (事務局 早助課長補佐) 現在、小矢部市の放送番組を作る場合については小矢部市のケーブルテレビ加入者によるケーブルテレビの利用料等で、その中で、番組の方で作らせていただいております、TSTさん砺波・南砺の方に流すものについては、TSTさんが砺波・南砺の加入者の収入をもってして作っておられて流している現状で、料金については小矢部と砺波・南砺は分かれているというのが現状であります。 (谷崎委員) 料金そのものは要するに砺波・南砺とは違う。

(事務局 早助課長補佐)

違います。砺波・南砺でやっている分と小矢部の分は分かれて計算されていますが、当然 TST さん同じ会社でやられていますので人件費とかそういったものについては、加入者の世帯等で案分させていただいて、小矢部の部分で経費として計上する部分、砺波・南砺の部分で継続するっていうようなものは発生しておりますが、基本的にはその小矢部の収入をもって小矢部の番組、砺波・南砺の収入をもって砺波・南砺の番組ということで作られていらっしゃる。

(谷崎委員)

ということは、現状では、小矢部は小矢部の加入者からの収入で賄っているということですか。

(事務局 早助課長補佐)

そうですね。ただし放送番組だけを、このお金を使って賄っているわけじゃなくて、当然回線とかの維持管理とかそういった部分にも充てられていらっしゃいます。

(谷崎委員)

ということはソフトだけでなくハード部分も指定管理か。

(事務局 早助課長補佐)

そちらについても、指定管理で管理の方をお願いしております。

(谷崎委員)

ということは TST がやっているわけではない。

(事務局 早助課長補佐)

小矢部市の分については TST に指定管理を出して TST さんが。ただ小矢部の利用料金を使ってその分は賄っていただいています。

(谷崎委員)

総合的に全部集めているのは TST で、その中で小矢部の分は小矢部の分、TST の分は TST の分としている。

(事務局 早助課長補佐)

現行は今そのような形で。

(谷崎委員)

ということはそれが例えば、統合すれば、1000 万円で済むんだけど、関係性の権限というのは、大幅に狭くなるんだな。

(事務局 早助課長補佐)

そうですね。

(谷崎委員)

そうするとやっぱりちょっと問題点もあるかもしれない。逆に言ったら安くあがるんだけど、例えば砺波・南砺・小矢部となると今までの放送時間の 3 分の 1 になるということですね。そこら辺をどう考えるか。

(山室会長)

そうですね、地区特派員リポートは、7 ページ目にありますように、半分にな

る。今までだらだらと 10 分流していたのがいいのか悪いのか、集約された 5 分で、6 回やるという。

(谷崎委員)

そうなると、編成の仕方というか、市民の皆さんに伝わるような編集の仕方をしなければならない。

(坂田委員)

小矢部市で市民の方で加入しているのはどれくらいですか。

(事務局 早助課長補佐)

接続率でいきますと、大体 7 割ぐらいです。

(坂田委員)

先ほど使い方が分からないとか入り方が分からないといった意見がアンケートの中にあっただんですけど、例えば使い方とかのセミナーや講習会を開く予定はありますか。

(事務局 早助課長補佐)

今のところないです。

(坂田委員)

最初に加入する時には加入に関するチラシはあったが、そういう機会というのはあまりないものですから。

(事務局 早助課長補佐)

平成 14 年の開局のときには、当然全市的にキャンペーンさせていただいて、各 1 軒 1 軒回ってお願いさせていただきまして、今ほど言いましたように 7 割ぐらいの接続率で進んでいます。これについては砺波・南砺と比較すると小矢部が一番高く、砺波・南砺はそこまでいってないんですね。ある程度、加入率が進んでいるというところもあって、その後新たなキャンペーンとかをして、加入促進ということはしてきてなかったのが現状です。

ただ、令和 3 年に光ケーブルを市の方で整備させていただいて、今、光化の方お願いしますということで、同軸ケーブルを使った放送から、光ファイバーを使った放送の方の切り換えの方をお願いしているので、こちらについては、キャンペーンもしながら、放送の切り換えっていうところと、新規加入というところをお願いしておりまして、7 割を切らないように、7 割ぐらいの接続を維持していきたいということで、そういったキャンペーンの方も取り組んでいるところであります。

(山室会長)

チョイソコを進めるときに、公民館とかに説明の場あったでしょう。ああいうのを今検討すればいいのかなとは思いますが。検討の余地があれば、検討していただければ、あのチョイソコのときも結構おいでの方いらっしゃいますので。

今、ケーブル光にしたら、サービスで B S も見られるような、アダプターをつ

けてってくれた。無料ですよと。BS 見られるというのはありがたいかなと。そういうプラスアルファもありますので、そこも説明して、もしそういうのは要望があれば、そういうような、説明に伺いますよというような、そういうのは市報なんかに掲載すればいいかなと。書くだけですから、そう、要望あったところで説明すればいい。

私の提案ですけど、また検討をお願いします。

(驚委員)

資料4の時系列について2002年、平成14年のケーブルテレビが開局されてからしばらくしてから加入率はずっと60%から70%で推移して流れてきていると思うんですけども、世帯数っていうのを今下で見えてきた状況では、人口が2万8千人ぐらい、当時3万2千ぐらいだと思うんですが、そんな中で世帯数減っていますよね、加入率は変わらなくても。そんな中で維持してかなくてはならないことから、多分、「今後について」という問題が今回出てきたのかなと思うんですけども。

全体的には世帯数どのぐらい減少しているんでしょうか。

(事務局 早助課長補佐)

人口は減りつつあるんですが、実は世帯分離、昔は3世代同居でというようなところ、今は若い人だけ世帯を出たりということで、世帯数自身はそんなに減ってきてはいないんです。

(驚委員)

加入率は変わらないということですか。

(事務局 早助課長補佐)

徐々には落ちてきているのが実際にありまして、昔はそのテレビ見るときは、テレビしかもう選択肢がなかったところ、今ネットテレビとか、そういったものが出てきて、テレビじゃなくても同じような内容のものを見ることができるようになってきているということで、若い方たちが、家を建てても、ケーブルテレビの方に加入されるのではなくて、そういったネットテレビだけでいいわとか、実際にテレビ離れが進んでいるっていうところもあるのかもしれないんですけど、新規で家を建てられた方の加入っていうところも、実は伸びてないのが現状です。

(驚委員)

現実的に多分、それがもっと進んでるんじゃないかなっていうところで、この費用負担、多分5年に1度、もう1回来るんじゃないかなと思うんですよ。それを踏まえた上での意見を言う。

(市 吉田部長)

今ほど(資料4の)2ページ3ページをご覧いただいた上で、将来的な設備の維持管理の、負担という観点でも検討というご意見だと思いますが、私どもまずもって、本審議会にお願いしたいのは、当然費用のこういった現実は当然ござい

ます。

これはこれとして置いて、まず番組のあり方として、もう具体的に説明の中で出ました、地区特派員の番組が、ちょっと短くなって再放送の回数も減ります。議会生中継についても、録画放送で、週の後ろになります。

その一方で、先ほど委員からご発言あった、小矢部のスポ少の番組なんかも、砺波・南砺に流すことができます、向こうの番組もこっちで見ることができる、こういったメリットがある。そういった面で、とにかく番組の、あり方という点から、まずはご審議をいただきたいというのが、私どもからの今回のお願いでございます。

当然こういったことも含みおきいただいてということではありますが、費用の方がちょっと前面に出るよりも、まずは番組としての観点を前面にぜひお出しいただきたいというのが、事務局からのお願いでございます。

(山室会長)

今、事務局から言われたとおり、当審議会は番組審議会のため、まず番組について、そのあとに予算が出てくるのかなと、そのように思いますので、番組について、こういうことがあったら、番組はこうでありますよということをお話されて、これについて今ほど言われたように、砺波・南砺でも小矢部のスポ少とかの番組を見られる、また反対のこともできる、交流にも繋がるのではないかなと思います。

それでは、その他何か、ご意見等ございませんか。

ではないようでしたら、今回、市長から諮問事項については、委員の皆様それぞれ所属団体がございますので、持ち帰り協議していただきたいと思います。

なお、来月の、先ほど説明ありましたように3月の21日に第2回目の審議会を開催し、各団体からの意見を公開したいと思いますが、開催にあたり、事前に、ご質問、ご意見等、事務局にて受け付けしますので、お手元の意見質問書を送付していただくか、フォームにて入力をお願いします。そして4月中旬に、翌年度第1回審議会を開催し、諮問への答申内容を協議し、4月下旬に翌年度第2回審議会を開催し、市長へ答申したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

9 その他

(林委員)

これは今日いくつか意見があったんですが、加入状況であったりとかその推移とかも今後の参考に皆さんされるのかなと思っていましたので、次回でいいと思うんですが、今の加入世帯数だったり、推移であったり、また、いろんなプランがあると思うので、分かれば加入のプランだとか、本来の審議会の趣旨からすると逸脱するかもしれませんが、いろんな番組見たりすると思うんですが、どこまでのものを皆さんが今登録されているのか、私子供のころ野球見たかったので、Jスポーツとかスカイ A とかそういうのを見たくてケーブルテレビを見ていた

んですけど、私の知り合いも子供のときはケーブルテレビでアニメを見ていたよと。小矢部の番組も大事なんですけどそういう使い方をされたている方がどこまで、小矢部のチャンネルを見ているのかっていうのも、多分ちょっと参考になるかなと思うので、分かるものがあれば資料として参考で出していただきたいと思います。よろしくお願いします。

(事務局 吉田課長)

今ほど加入状況推移につきましては、こちらでも把握しておりますので資料を作って次回、審議会のときにお示しをしたいと思います。

あともう1点どのようなものに入っているのかとか、そういうところについてはTSTと話をさせていただいて、次回までお出しできるように調整をしたいなと思っております。

(宮崎委員)

光の加入率もどの程度進んでいるのかもわかれば。

(事務局 吉田課長)

わかりました。

(山本委員)

データ放送については変更なしということでもいいですか。

(事務局 早助課長補佐)

データ放送での出し方自身は変わらないんですけど、先ほど課長の方からも申しましたが、災害時等におけるその運用方法については、見直しをかけた上で、活用していきたいなというふうに思っております。

(山室会長)

データ放送っていうのはもう少しスムーズに流れないんですか。あれもう少しスムーズにしていいただければ読みやすいのかなと。

(事務局 吉田課長)

会長、事務局からよろしいでしょうか。

今回1回目ということでいろいろ、資料等もお示しをいたしましてご審議をいただきました。それで2回目以降のこの審議会についてでございますけれども、今回、1回目は公開という形で、ケーブルの取材等も入っております。

2回目以降についてでございますけれども、先ほど部長も申し上げた通り、これから番組の編成と、構成、内容というところに関わってくるところでありますので、2回目以降、まず次回については、非公開というような方向で、事務局としては考えておりますけれども、皆さんいかがでしょうか、お諮りをさせていただければと思います。

(山室会長)

今ほど事務局から説明があったように、金額が伴うこともありますので、非公開ということでよろしいでしょうか。

9 閉 会	((特に委員から意見なし)) 非公開ということで、お願いいたします。 それでは、他に意見がないようなので、これをもちまして議事を終了させていただきます。 (吉田部長より閉会の挨拶) 閉 会
--------------	---